小学校第六学年　国語　「新聞記事を読もう〈前編〉」（読むこと）　目標時間10分

○　原中さんは、家庭学習で岩手・宮城内陸地震について調べることにしました。インターネットで過去の新聞記事を調べるうちに、地震でくずれ落ちた「祭時大橋（一関市）」に関する内容が長期間にわたって書かれていることに気がつきました。【別紙】の新聞記事**1**～**3**を読み、あとの問いに答えましょう。

一　原中さんは、祭時大橋に関する**1**～**3**の記事を、次のメモ**A**～**C**にまとめました。**ア**～**オ**に当てはまる言葉を書き、メモを完成させましょう。

A

ア　により崩落した祭時大橋を　**イ**　することで、

ウ　と　**エ**　が合意した。

祭時大橋は、一部が災害遺構として残ることになった。

B

ウ　は、様々な問題から、祭時大橋を撤去することにした。

は　**イ**　を要望していたが、聞き入れられなかった。

C

新しい橋が完成し、**オ**　が行われた。また、災害遺構の除幕式も行われた。

二　新聞記事**1**～**3**を、記事が書かれた順番に□に書きましょう。

□ → □ → □

組　　番

氏　名

【別紙】

1

祭時大橋を災害遺構に　岩手・宮城内陸地震で崩落※2

昨年６月の岩手・宮城内陸地震で崩落した一関市厳美町の国道342号、祭時（まつるべ）大橋の保存問題で、県は橋げた（道路部分）の一部保存を決定。一関市と保存方法などで合意し７日、発表した。同市は昨年から「災害遺構」としての保存を県に要望していたが、県は３月、橋台と橋脚を残し、橋げたはすべて撤去※3する方針を決めていた。今回の合意は同市の保存にかける熱心な要請が結実した形だ。

新たに保存が決まったのは秋田側の橋げた約62メートル。これまで決まっていた高さ25メートルの秋田側橋脚と一関、秋田両側の橋台と合わせて保存する。一関側の橋げた約33メートルと折れた橋脚は撤去する。

コンクリートなどで橋げたの移動防止と川底の保護を図る。県が対策工事を実施して市に無償譲渡※4し、市が管理する。

渇水期※5の11月以降に着工、来年３月末の完成を目指し、工事費は概算※6で１億１千万円。県によると全橋げたを撤去するより約４千万円安価になるという。

市は、周辺の大きなひび割れが生じた道路、岩盤も災害遺構として保存。周辺に駐車スペースや見学エリアを設け、同市厳美町市野々原（いちののばら）の土砂ダムと合わせ一体的な整備を検討する方針だ。

坂本紀夫副市長は「今回の地震の体験を忘れないためにも祭時大橋の保存は重要」とのコメントを発表。一戸欣也建設部長は「橋げたが一部でも残った方が地震のすさまじさが分かりやすく伝わる」と述べた。

同橋の保存をめぐっては「地震の強大さを次世代に伝えたい」と市が県に保存を働きかけた。だが、県は治水管理※7や財政負担※8の問題を挙げ、全橋げたの撤去方針を決定。その後、市側が橋げたを残したイメージ図を県に示すなど、粘り強く保存を要請し県が７月から再検討していた。県によると、学識経験者※9らの同橋見学は昨年１千人を超え、 今年も４月から今月まで約860人が訪れているという。

2

09年度冬に一関・祭時大橋撤去　県方針

県は、昨年６月の岩手・宮城内陸地震で落橋した国道342号の祭時（まつるべ）大橋（一関市厳美町）について、2009年度内に撤去する方針を決めた。地元の一関市は保存を要望していたが、治水管理上の問題や保存した場合の財政負担を考慮した。

撤去するのは、すべての橋げたと一関市側の折れた橋脚。橋両側の橋台と秋田県側の橋脚は残る。撤去工事は渇水期の今年冬に行う。予算や工法は検討中。

県によると、祭時大橋は折れた橋脚の上に、折れ曲がった橋げたが乗っている状態。地震発生当初は、橋脚は川底が隆起※10した部分にあったが、昨年12月の調査で、土砂流出により川底が沈下※11しているのが分かり、折れた橋げたの傾きが急になり、橋げた本体も傾いていた。

県は、橋に動きが見られ、治水管理上の問題があることから、撤去を決めた。３月中に住民説明会を予定している。祭時大橋は、1978年完成で、幅９メートル、長さ94.9メートル。

祭時大橋の仮橋は昨年11月30日に開通。上流側に建設予定の新橋は2010年度内に完成する。

3

一関の祭時新橋が18日開通　内陸地震から復旧

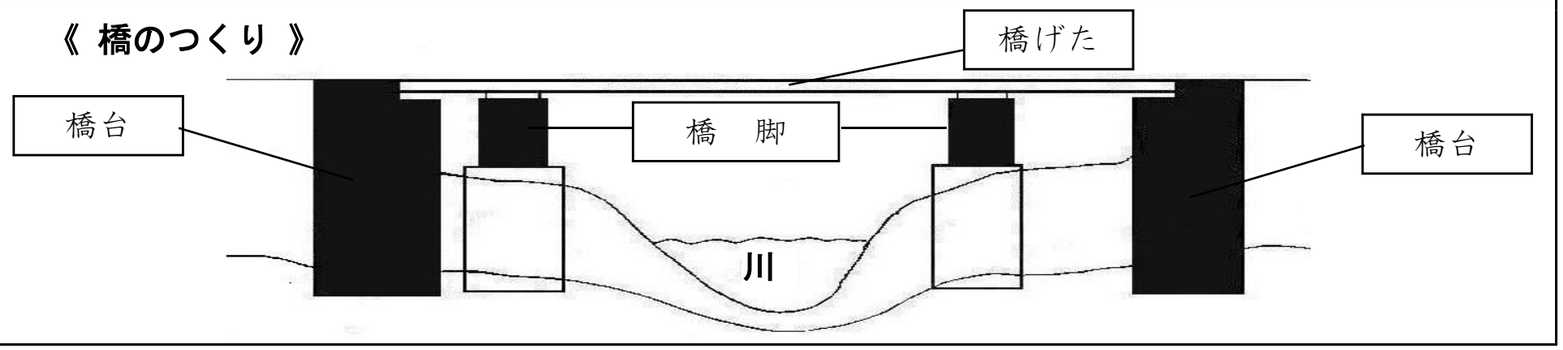
2008年６月14日の岩手・宮城内陸地震で崩落した一関市厳美町の国道342号祭時（まつるべ）大橋に替わる新橋は18日正午、開通する。新橋の完成で同国道の復旧工事は全て終了。同日午前10時半から同橋で開通式が行われる。

新橋は磐井川支流の鬼越沢に架かる長さ115メートル、幅９メートルのコンクリート製。落下した橋の上流150メートルに建設された。09年５月に着工し今月に入り完成。名前はこれまで通り「祭時大橋」となる。

開通式では、地元の親子３代の夫婦による渡り初めが行われるほか、隣接する災害遺構の除幕式も行われる。

※１　災害遺構…災害の様子を後の世に伝えるための建造物のこと。
※２　崩落……地震等のためにくずれ落ちること。
※３　撤去……すっかり取り去ること。
※４　無償譲渡……お金を取らずにゆずり渡すこと。
※５　渇水期……川の水が少ない時期のこと。ここでは冬。
※６　概算……だいたいの数字で計算すること。またはその結果。
※７　治水管理…川などの水があふれて人々に悪い影響を与えないように管理すること。
※８　財政負担…都道府県や市区町村のお金を使って負担すること。
※９　学識経験者…学問上の知識と見識の高い人のこと。大学の教授等の場合が多い。
※10　隆起……土地などが盛り上がって高くなること。
※11　沈下……土地などがしずみこんで低くなること。

《 橋のつくり 》



引用新聞記事

「岩手日報特集　岩手・宮城内陸地震」岩手日報 WebNews　岩手日報社
http:/www.iwate-np.co.jp/08iwate-miyaginairiku/iwate-miyaginairiku.html
※岩手日報 WebNews の記事に、学年に応じた振り仮名と語釈をつけました。
※引用記事３本の日付は、問題構成上の都合により、「正答例と解説」に記載しています。